ローランド株式会社
2025 年 12 月期 第 3 四半期決算説明会 Q&A 要旨

日時：2025 年 11 月 11 日　15:00~15:30

説明者：執行役員 CFO 袴田裕一

Q1. 関税対応のための値上げによるセルインやセルスルーへの影響と、他社の値上げ動向について教えてください。

5 月に値上げを行った米国の状況についてですが、値上げ後に一時的なセルスルーの減少はありましたが、価格を細かく調整し、現在は新製品の効果もあり堅調なセルスルーとなっています。他社でも値上げの動きは徐々に見られています。

Q2. 7-9 月期の米国の需要について、想定対比でどうだったのか教えてください。

関税によるデマンドの低下を懸念しておりましたが、想定よりもやや強かったと感じています。
年末商戦に向けた Dealer の仕入れも、適切なレベルで進んでいると考えています。

Q3. 欧州について、今後の需要の見通しについて教えてください。

需要については、やや弱い動きではありますが、現時点では、今後大きな変化が起こってくるとは見ておりません。ただ、Dealer 間の競争が激しくなっており、中小規模の Dealer にとっては、事業環境の厳しい状況が続くのではないかと考えております。

Q4. 説明会資料 P.9 記載の営業利益増減分析について、関税によるネットでの影響をどのように理解すればよいでしょうか？

価格適正化などの効果は「売価/原価変動」でお示ししている要素に含まれております。グロスでの関税によるコスト増を対策でオフセットできているとお考え下さい。

Q5. 説明会資料 P.15 記載の 10-12 月期の為替影響について、現時点での見通しについて教えてください。

現状の為替レートが続くと仮定すると、7-9 月期と同程度の影響になると考えております。

Q6. 関税影響以外で、来期業績に影響があると現時点で考えている項目があれば教えてください。

Q3 に、電子ドラムのボリュームゾーンとなる新製品を出していますので、これらが来期通年で売上に寄与すると考えております。関税によるコスト増額は対策でオフセットできると考えておりますが、それ以外のコスト要素等は現在議論中です。

Q7. 従前より、事業環境の見通しができるようになってきた中で、通期業績予想のレンジ形式を維持した背景について教えてください。

関税影響を適切に見積もるために、もう少し精査が必要なこと、また関税影響に関連する期末の会計手続きにおける不透明要素を考慮して、レンジ形式を維持しました。

※本資料は、ご出席者様から頂戴した主な質問をとりまとめたものです。回答の意図をより分かりやすくするため一部加筆修正を行っております

免責事項

本資料には、ローランド株式会社の現時点における予測に基づく記述が含まれています。

これら将来に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性その他の要因が内在しており、

当社における実際の業績と異なる恐れがあります。